

福岡ソフトバンクホークスマーケティング株式会社様

FWD-S47H1

アミューズメント

**視認性の高いディスプレイにより、各地イベント会場で活用。
9面マルチディスプレイでハイクオリティな映像演出を実現**

お客様のニーズ・課題

2009年の「HAWKS 九州元氣!プロジェクト」活動において、ホークスキャラバンを続行。ステージ背景に映像表示装置を配置し、効果的な演出を図りたい。

導入効果

3×3マルチディスプレイによる、視認性の高いハイクオリティな映像演出を実現。会場の楽しさを活かしたメッセージ発信を可能とし、ファンや協賛企業にも好評。



福岡ソフトバンクホークスマーケティング株式会社様

福岡ソフトバンクホークスマーケティング様は、九州地方で唯一のNPB球団である「福岡ソフトバンクホークス」の事業を、野球団を保有し野球競技を行う福岡ソフトバンクホークス株式会社様とともに担い、同球団の興行にかかる一切の事項（チケット販売、スポンサーシッププログラム、ファンクラブ、グッズの企画・販売、映像、デジタルコンテンツの企画・制作・管理など）を運営・管理しています。ソフトバンクグループの持つ多様なプラットフォームと、福岡ソフトバンクホークスのブランドやヤフードームの感動提供機能を活用して、「感動」を広く伝える会社です。

福岡ソフトバンクホークスマーケティング株式会社
篠原素子様にお話を伺いました。

導入背景

効果的な映像演出により、地元ファンとホークスの交流を広げる。

昨年（2008年）、福岡ソフトバンクホークスは本拠地を福岡に移転してから20周年を迎えました。また、ホークスの前身である南海軍時代から数えて、創設70周年にあたる年でもあります。その記念事業の一環として様々なイベントを開催しました。ホークスキャラバンもそのイベントの1つで、各県で開催されるホークス公式戦（1軍・2軍）にあわせ、ショッピングセンターなどに特設ステージを設けて、球団マスコットのショーや公式ダンスチームによるダンスパフォーマンスなどを行いました。地元・福岡だけでなく、九州全域のファンの皆様とホークスとのつながりをさらに深めることや、これまで野球に関心を持つ機会がなかった皆様や子供たちにもホークスを知っていただくことがテーマです。この試みは大変好評で、2009年の活動である「HAWKS 九州元氣!プロジェクト」でも開催されることになりました。新プロジェクトは、景気低迷など元気がないニュースが多い中で、野球の素晴らしさを通じて「九州のみなさんを元気にしたい!」という取り組みです。そこで、2年目となるホークスキャラバンの内容を見直し、それまでエアバルーンで造形していたステージ背景に映像表示装置を配置して、いまの時代にあった効果的な演出を図ろうと考えました。



九州各地でキャラバンを開催し、ファンとの交流やホークスへの理解を深める。

選定理由

高輝度パネルで視認性の高い映像を表示。コストや可搬性も評価。

映像表示装置として検討したのは、LED、プロジェクター、液晶ディスプレイです。ホークスキャラバンの会場となるショッピングセンターの広場は、日中には外光が差し込み、ステージとお客様との距離が非常に近い環境となります。このような条件下で、いかに鮮明な大型映像を表示するかが大きな課題となりました。LEDはコストが高すぎることで近距離では視認性がよくない点が、プロジェクターは明るい広場では視認性が低いことと、様々な会場環境で適切な投影距離を確実に保つのが難しいことが問題でした。また、各会場を移動するため可搬性も重要です。そこで、ソニーの47V型フルHD液晶ディスプレイFWD-S47H1に注目しました。高輝度・高精細なフルHDパネルを搭載し、鮮明で視認性の高い映像表示を実現するとともに、コスト面や可搬性についても優れている点の評価し、FWD-S47H1を使ったマルチディスプレイの導入を決定しました。



9面マルチディスプレイをFWD-S47H1で構成。鮮やかで明るい映像表示は、演出効果も高い。

● 導入効果

言葉では伝えきれない内容でも、映像ならばダイレクトに伝わる。

「ホークスキャラバン2009」は、2009年3月末に複合商業施設のキャナルシティ博多で開催された「ホークスキャラバンin CANAL CITY」を皮切りにスタートしました。「HAWKS 九州元氣!プロジェクト」の一環として、またホークスのプロモーション活動として、8月中旬まで九州各地で行われる予定です。

9台のFWD-S47H1は、ステージ奥に3×3の9面マルチディスプレイとして設置しています。映像は鮮やかで視認性が高く、3階まで吹き抜けているような会場であっても見劣りしません。

表示コンテンツには、試合開始前や試合中に流しているアタック映像や各選手のプロモーション映像など、ヤフードームでしか見ることのできないものを用意しました。また、選手のナイスプレーシーンを集めた映像や会場近くで開催される試合案内などキャラバン用に編集したもの、さらにキャラバンに協賛していただいたスポンサーさんのCMなどもあり、バラエティに富んでいます。ステージで行われているマスコットショーやダンスパフォーマンス、トークショーなどに合わせて、手軽な操作で表示コンテンツを切り替えたり、割り込み表示などが柔軟に行えるため、効果的なステージ演出が実現しました。アイキャッチ効果もあり、昨年と比べて足を止めてくださるお客様も多くなりました。

また、昨年のキャラバンでは、試合への誘致や特典案内などは司会者が口頭で説明するしかありませんでしたが、映像を活用することで会場の楽しい雰囲気そのまま活かしたメッセージが発信できるようになりました。言葉では伝え切れなかった部分が映像だとダイレクトに伝わり、皆様の記憶に残りやすくなったと感じています。その効果を認めて、昨年よりスポンサー数も増えました。キャラバン用に改めて映像を制作してくださるスポンサーさんもうらっしゃいます。

通常、各会場でのイベントは2日間行われるのですが、11時30分から18時30分の間はステージが休憩中であってもディスプレイはオフにせず、何らかのコンテンツを表示しています。長時間の使用にもかかわらず、キャラバン開始からいまでも一切トラブルがありません。この点についても高く評価しています。



高輝度パネルで高い視認性を持つFWD-S47H1は、多彩なコンテンツを鮮やかに映し出し、会場の楽しさを盛り上げる。



広く、吹き抜けの高いショッピングセンターの広場でも、ハイクオリティな映像を提供する。

● 今後の展望

画面構成や表示形式を使い分け、よりフレキシブルな演出を図る。

現在は、ディスプレイ9台を1面としてコンテンツ映像を表示していますが、今後はディスプレイそれぞれに個別のコンテンツを表示したり、横置きだけでなく縦置き設置にすることなども考えています。レイアウトパターンを増やすことで、よりフレキシブルでダイナミックな演出を図りたいですね。ディスプレイの台数を増やす可能性もあります。

見た目の豪華さ、ハイクオリティさは期待よりも大きく、導入は成功だったと感じています。

パブリックディスプレイの商品情報やお客さま事例をご覧ください。

sony.jp/public-display/

ソニービジネスソリューション株式会社 / 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

記載の商品に関するお問い合わせは

業務用商品相談窓口

フリーダイヤル ☎ 0120-788-333

●携帯電話・PHS・一部のIP電話からは 050-3754-9550

●FAX 0120-884-707

●受付時間 9:00～18:00 (土・日・祝日、および弊社休業日は除く)

2009年7月現在